

## 第4回 新しい学校づくり吉野川市・阿波市地域協議会 議事録

### (1) 協議「設置小学科及び学校間連携について」

#### 委員

学校間連携として「交流学习」、「部活の合同練習」、「合同イベント」を挙げていますが、先の見通しについてお尋ねします。来年度はどのような方向で行こうとお考えなのでしょうか。来年度は両校を残して、何を中心にやろうという方向性をお持ちなのでしょうか。

#### 県教育委員会

来年度の方向性についてのご質問でしたが、この地域協議会を立ち上げたときに、「高校再編方針」という冊子をお配りして説明させていただきました。その中で、高校再編スケジュールといたしましては、「平成18年度と19年度の議論を取りまとめた地域協議会からの報告を受け、再編計画を策定し、平成20年度から22年度の3年間をかけて学校間連携を実施し、条件の整ったところから実際の再編整備を進めていきたい。」という全体のスケジュールを提示させていただきました。従いまして、来年度は、両校の学校間連携という形で進めていきたいと考えております。学校間連携は3年かけて行うのが基本ではございますが、条件が整えば、3年間を待たずに再編整備を進めていこうと考えております。

県下7地域で地域協議会が行われておりますが、条件の整ったところから、具体的な再編にかかりたいと思います。

#### 委員

事務局からの設置小学科及び学校間連携についての説明をうけ、非常に良くできている計画・内容だと思います。

5つある小学科をそれぞれ見れば、大変素晴らしいものだと思いますが、例えば「農業科学科」のところを見ましたら、「食料供給分野」など、4つの学習分野が挙げられており、果たして3年間の高校生活で、これだけの内容を消化していけるのか、という不安もあります。その辺りについて、どうお考えなのか教えていただきたいと思います。

#### 事務局

4つの学習分野について、3年間で消化できるのか、というご質問でしたが、この4つの学習分野は、学習指導要領に示されている教科「農業」の学習分野が4つという意味であります。委員がおっしゃるように、1人の子ど

もが、4つの学習分野すべてを3年間で学習することは困難だと思われま  
す。こうしたことから、例えば「農業科学科」では、4つの学習分野のうち「食  
料供給分野」を重点学習分野にしたいと考えております。

#### 委員

学校間連携について、具体的な説明をお願いします。

#### 事務局

交流学习の実施、部活動の合同練習、合同イベントの実施を3つの柱とし  
た学校間連携についてご説明します。

全ての生徒が、交流学习に参加するのは困難だと思われま  
す。それぞれの学校で希望者を募ったり、「課題研究」で交流学习を実施するなど、両校で  
よく話し合っ  
て、実施に向けたカリキュラムを作っていきたいと考えており  
ます。

部活動の合同練習については、実施する部、実施回数は限られてきますが、  
両校生徒が仲良く合同練習できるよう、計画を練って実施していきたいと考  
えております。

合同イベントにつきましては、「それぞれの専門性を発揮し、協力すれば  
こんな事もできる、あんな事もできる」ということを実務者会議で考え、ご  
提案させていただきま  
した。「新鮮なっ！とくしま号」の利用については、  
阿波農業高校からご説明願  
います。

#### 事務局

本校では「安全・安心」というキャッチフレーズで、徳島県内で農産物販  
売等を実施したり、大阪の中央卸売市場へ出店したり、県のアンテナショッ  
プで販売したりして  
おります。そうした活動が続ける中で、県の方からも「安  
全・安心」のブランドで農産物のPRをするために「新鮮なっ！とくしま号」  
の利用について依頼をうけて  
おります。そういう中で、鴨島商業高校と本校  
との合同イベントが実施できるのではないかと考えて  
おります。

また、本校では「阿波農フェア夏祭り」を今年の7月8日に実施したば  
かりですが、NHK、徳島新聞社等にPRしていただき、かなりの人を呼ぶこ  
とができ、盛況のうちに終  
えることができたということで、両校が協力した  
「新鮮なっ！とくしま号」を利用した合同イベントの実施は、十分可能であ  
ると考えて  
おります。

## 委員

ただいまの説明をうけて、素晴らしい学校ができあがるな、というような大きな期待をよせているものの一人です。ただ、心配いたしますのは、この3年間という年月をかけて新しい学校づくりを実現するというのですが、鴨島商業高校と阿波農業高校の生徒が一緒にいろんな活動をする上において、それぞれの学校の特色、それぞれの生徒の人間性を生かしてやるのが大切だと思います。日本は、女性が世界一、男性が世界で2番目という長寿国です。70年、80年の人生の中で、「仲間意識」がしっかりできていなければ、大変な社会になってしまう、というような心配がございます。

阿波農業高校の先生が先程言われましたように、両校生徒、教職員が、農産物等いろいろなものを作り、販売活動・PR活動等の協力をしていただく地域の方々に、十分理解していただけるようにしなければならないと思います。

それと、3年間の学校間連携ということでございますが、前回の視察報告にありました、他県の3校の良いところを取り入れて、できるだけ早い時期に再編を実現するというような考えも必要ではないかと思えます。ご承知の通り、少子化ということもあって、阿波農業高校について申しますと、新聞を見るたびに、入学希望者が他校に比べて少ない状況があります。

特に阿波農業高校では、校長先生をはじめ教職員の先生方が、地域の小中学校の方々に学校に招いたり、出張授業を行ったりとPR活動に頑張っておられます。地域の小中学校だけでなく、もっと広い地域に対しても盛んにPRを行い、学校再編のこと、または阿波農業高校の良いところを理解してもらい、少しでも多くの方が阿波農業高校、その教育を引き継いだ新しい学校に進学希望するような学校づくりをしていかなければ、せっかく新しい学校を作っても、希望者が少ない、というようなことが起きるかも知れません。少子化の進む中で、そういうことが起こらないように、真剣に取り組んでいただけたらと思います。

## 県教育委員会

ただ今のご意見の中に、再編時期についてのご意見がありました。本年度内に報告書をいただいて、再編計画を立てた後、3年間の学校間連携を行っていきませんが、その後には再編整備を進めていくわけではなく、3年間の学校間連携を行っていく中で、条件の整ったところから再編整備に取りかかっていく予定であります。吉野川市、阿波市地域で、早く再編して欲しいという要望がありましたら、地域協議会でおっしゃっていただけたらと思います。

## 委員

この設置小学科及び学校間連携は本当に素晴らしい内容で、ぜひこのように実現していただきたいと思います。私も学生であったなら、ここに入学したいと思うような内容であります。特にこの中でも起業家育成というところは、これからの時代にも合った内容でありますし、「食ビジネス科」などの新しいものも、とても素晴らしいものだと思います。これらを実施する際に、既に素晴らしい先生方がたくさんいらっしゃると思いますが、外部講師などを起用することがあるのか、という点についてお伺いします。

## 事務局

生徒たちにとって恵まれた授業となるよう、地域の方々も含め、それぞれの専門分野の外部講師をお招きし、授業を展開していきたいと考えています。また、教員自身も、外部講師、地域との連携を通して、実際の経営、農業技術などを学び、専門性を高めていきたいと思っています。

## 委員

「新高校の基本方針」にある、「学校像」の「豊かな人間性や共生の心を培う学校」、「育てたい生徒像」「特長的な教育」の「地域を愛し、地域の自然や文化と触れ合う体験的な教育や、食の安全・安心の観点からの教育」は、基本的な人間の優しさを求めていると思います。専門的なエキスパートを育てることも大事ですが、その前に人間性豊かな子どもを育てるということも大事だと思いますので、学校間連携の中にボランティア活動を取り入れて欲しいと思います。私も地元で、子育てのボランティアや、お年寄の慰問などをしていますが、そういう人に対する優しさを養うということが、すごく大事だと思います。親はそれを一番望んでいると思いますので、ぜひ取り入れていただきたいと思っています。

## 事務局

学校の基本方針を踏まえ、学校間連携の中に、ボランティア活動もぜひとも取り入れたいと思います。

## 委員

私は今、中学校に勤務しておりますが、今年4月に高校に入学した者の中で1名、小松島西高校に進学した者がございました。私自身の考えとしては、自宅からできるだけ30～40分程度で、高校へ行けるのが一番ではないだろうか、という思いの中で送り出しました。この小学科の案、特に「食ビジネス科」の案を見させていただきますと、調理師を目指す生徒も、将来的に

こういう学科ができるとすれば、新しい学校へ行って学ぶことができるだろうと嬉しい思いがいたします。

2つ目ですけれども、学校間連携の中で、部活動の合同練習、または練習試合というようなことをお考えのようですが、子どもたちが学校を選択する場合、「この高校でこういう部活動を一所懸命やってみたい」というような思いで高校を選ぶことも多いと考えられます。現在、中学校の方では、山川中学校を例に取りますと、本年度は市の総合体育大会や県の総合体育大会に、合同チームで2競技ほど参加させていただきました。例えば、ソフトボールは、県立川島中学校と合同チームを組ませていただきました。それから、女子バレーボールにつきましては、美郷中学校と合同チームを組ませていただき、市の大会、県大会に出場しました。2校の子どもたちがそれぞれ望む方向でということによってお互いに交流もでき、それを通して他校とのつながりも非常に強まったと思っています。

部活動については、3年間は合同練習とか練習試合の実施といった方向で進んでいく予定のようですが、もし可能であれば、高等学校でも合同チームで県の大会に出場することは出来ないものでしょうか。そうすれば、早い段階で、「地元の高校へ行きたい」というような選択が、子どもたちの中に出てくるのではないかと考えます。

それから3つ目ですけれども、高等学校の方からは、非常にきめ細かい中学校への働きかけをしてくださっています。現在も各学校の説明会を、中学校に来てしてくださったり、夏休みにもオープンスクールや出前授業など、子どもたちの高校理解を深める活動をしてくださり、非常にありがたいと思います。本日の説明のように、新しい高校の方向性を、専門用語は分かりにくいこともありますので、子どもたちにも理解できる言葉で、伝えていただきたいと思います。

## 県教育委員会

部活動の合同チームについてでございますが、高体連・高野連とも、「再編統合の決まったところについては合同チームを組むことができる」という規定がございますが、これは全国大会出場まで可能です。ちなみに海部郡で3高校が統合した際に、海南高校、日和佐高校、宍喰商業高校あるいは新しくできた海部高校とが、それぞれ競技によって合同チームを組んで県大会に出場していました。再編統合する前の学校間連携のときにできるかどうかは確認してみなければ分かりませんが、それぞれがまだ鴨島商業高校、阿波農業高校として全学年の生徒が揃っている段階では難しいのではないかと思います。

それから、中学校へのPR活動ですが、従来は、高校が地域からかけ離れているというイメージがあったと思いますが、最近、高校といたしましても、地域に開かれた学校づくりを目的とし、オープンスクールなどをたびたび開催いたしております。まだまだ広報の足りないところもあるかと思いますが、特に、再編統合を計画しているところにつきましては、今後一層、地域の方々が自由に学校へ来られるような環境づくりを進めて参りたいと思います。特に、先程ご指摘のあった点についてですが、中学生に対しては聞き慣れない言葉を使い、「専門用語だから」という一言で済ませてしまって、分かりづらい表現になっていることが、多くなっているのではないかと思います。できるだけ中学生に分かりやすい、理解しやすい説明や言葉遣いを、心がけていきたいと思います。

## (2) 報告「視察C校の施設整備の状況について」

〔 前回協議会において、視察報告（A校、B校、C校）を行ったが、視察C校の統合例が参考になるとの意見を受け、視察C校の施設整備の状況について報告 〕

### 委員

視察C校では、職員会議を1カ所で行ったり、はじめは1つのキャンパスに登校して、それから生徒が移動するといった状況で、これは統合しているからもちろんできているんだと思いますが、そういう要素を学校間連携の3年間の中に入れていかなくても良いのかどうか疑問が湧きます。

いろんな合同イベント等をお考えのようではありますが、参加希望していない者は、全くそんなイベントに参加しなくても大丈夫となってしまうかぬないという思いもします。もう少し核になるような、例えば、体育祭を一緒にするなど、子どもの心が強く結びつくようなことを両校の間で行ってみてはどうでしょうか。視察C校も最初はどのようにやっていたのか、もし分かりましたら教えていただきたいと思います。

### 事務局

視察C校の統合前の学校間連携の状況につきましては、詳しい内容を聞いておりませんでしたので、調査いたしまして、次回にご報告いたします。

学校全体での学校間連携につきましては、実務者会議の中でも、学校全体の取り組みとして、学校祭を相互に盛り上げるような形で実施してはどうかという意見もありました。しかし、生徒全員の移動方法、移動時の安全

管理上の問題等がありまして、今回の協議会ではご提案を控えておりましたが、実務者会議でも再度検討したいと思います。

#### 委員

視察C校が開校して以来、従来なら普通科高校へ入学していた生徒さんが、視察C校に進んで入ってきたかどうか、言い換えれば、学校がそれだけ魅力的なものになったかということや、地域の人たちが「あの学校、良くなったなあ」などという評価が出ているかなども教えていただきたいと思います。

#### 事務局

視察C校では、地域ボランティア活動として「スクールガード」という取り組みをしておりました。地域の子どもたちが登校するときに、高校生が協力してガードをするといったことで、地域の方々から評価をしていただいていると聞いております。視察C校への進学状況等につきましては、次回にご報告いたします。

#### 委員

委員から依頼のありました調査項目につきましては、次回の地域協議会で報告してください。